

## 令和8年度事業計画書

### はじめに

平均寿命や健康寿命の延びによって人生100年時代と呼ばれる昨今において、高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現の一翼を担うことがシルバー人材センターの役割であり、生きがいの就労と地域社会への貢献への取り組みを一層進めなければなりません。

国による70歳までの就業確保の進展などにより本センター会員の平均年齢は76歳と上昇傾向が続き、年齢構成も75歳以上が59%を超えそのうち80歳以上が18%を占めています。おそらくこうした傾向は今後も続くものと思われま。会員が80歳を超えても健康状態に合わせて仕事ができる環境整備や仕事をリタイヤされた会員の余暇活動・フレイル予防をはじめとした健康づくりの場としての機能を備えることもセンターの役割です。また、余暇活動・健康づくりの場を会員に限らず町内の高齢者のだれにも提供することが地域に果たすセンターの役割であるとともに、こうした機会を基に新たな会員確保に繋がるのではと考えています。

こうした中、昨年度、全国シルバー人材センター事業協会から地域の高齢者（非就業）とセンター会員の2年間の追跡調査の結果、地域の高齢者に比べてセンターの会員はフレイルの発生リスクが34%軽減することが科学的に明らかになった旨の調査研究結果が公表されました。このことはシルバー事業の有効性を介護予防の面からも立証するものです。

その他にも「安全はすべてに優先する」原則のもと、会員一人ひとりが安全意識を共有し互いに協力しながら地域社会から信頼される安全就業、昨今の物価高騰にも対応できる運営基盤の強化、独自事業の創設や福祉家事支援をはじめとした社会の要請に応じた事業の拡大、適正就業の推進など、第4次中期計画に則り事業を推し進めることとします。

### 基本方針

- 1 いきいきと元気で働く仲間づくり
- 2 地域に深く根ざした仕事づくり
- 3 安全・健康、笑顔で働く職場づくり
- 4 取り組みを支える基盤づくり

## 事業実施計画

### 1 いきいきと元気で働く仲間づくり

会員の拡大を進めていくうえでは、センターが魅力的な組織であり、会員がいきいき活躍し高齢期の豊かな生活を実現している必要があります。仕事だけでなく、仲間づくりやフレイル予防などの健康づくりの場としてのセンター機能も広く周知し共に働き・共に楽しむ会員の拡大に努めます。

#### (1) 会員の増強

- ・毎月定例的に入会説明会を開催し、基本理念「自主・自立、共働・共助」に賛同される会員を増やします。
- ・魅力ある体験講座やセミナーを開催し健康増進や交流を深め、就業に限らず在籍する意義を会員に感じてもらうとともに新規会員の掘り起こしを行います。
- ・退会抑制のためのプラム会員制度や会員拡大に繋がる夫婦会員制度を更に周知します。

#### (2) 女性会員の拡大

- ・女性会員の占める割合は30%で、人口比から拡大の余地がまだまだあり、女性の感性にアピールする広報や就業意欲を喚起する仕事の確保に努めます。
- ・女性部会による女性を対象とした体験講座やセミナーを積極的に展開します。

#### (3) 普及啓発活動

- ・各戸配布のかわら版やネオポリス地区でのポスティングにセミナーの様子やいきいきと働く会員の姿を掲載し魅力あるセンターをPRします。
- ・機動的にホームページを更新します。
- ・東員町の広報媒体である「広報とういん」や「プラムチャンネル」に掲載・放映されるように町の健康づくり施策と連携した活動を展開します。
- ・シニアのつどい、文化作品展、商工祭などの他団体主催イベントの場を活用します。
- ・公共施設の清掃や保育園での保育支援などを行います。
- ・コーラスの集いの活動を展開します。

#### (4) 独自事業の拡大

- ・町内産の稲わらを使った正月リースや水引を使ったストラップを作成し販売します。
- ・独自事業のもんぺとくわ（シルバー農園）開設に向けて準備に着手します。
- ・体力が低下した高齢会員でも無理なく就業できる独自事業を調査研究し、退会抑制を図ります。

## 2 地域に深く根ざした仕事づくり

会員と町民の交流や地域貢献などによりセンターの理念や社会における役割を町民に理解いただき地域に深く根ざした仕事を展開します。

人手不足分野を補ったり、社会が要請する福祉・家事援助サービス事業を引き続き推進します。

### (1) 地域貢献

- ・公共施設の除草清掃や保育園での保育支援など地域に密着した活動を展開しセンターの社会的意義を高めます。

### (2) 地域に根ざした仕事の提供

- ・公共事業への積極的参加により町民サービスの一翼を担います。
- ・町内企業などの人手不足分野で会員の能力を発揮します。
- ・福祉・家事援助サービス事業を拡大します。
- ・仕事の仕上がりや接客態度を向上し、顧客満足度やリピート率を高めます。
- ・講習会等を開催し、会員の資質を向上します。
- ・地域社会のニーズに適合するよう会員とのマッチングを行います。

## 3 安全・健康、笑顔で働く職場づくり

会員が能力と体力に見合った安全で適正な仕事を通じて、健康で生きがいのある生活を営めるよう施策を推進します。

### (1) 安全就業の徹底

- ・就業前の体調及び安全確認の徹底を促進します。
- ・安全・適正就業委員によるパトロールを実施します。
- ・屋外就業を主に熱中症予防啓発訪問などを実施します。
- ・本センターで発生した事故はもとより、全国での重篤事故事例を会報「しるばーだより」に掲載するなど安全就業の意識を高めます。
- ・危険度が高い仕事は受注しません。
- ・作業機材取扱講習会など安全就業に関する講習を実施します。

### (2) 健康管理の促進

- ・会報などに健康管理の情報を積極的に掲載します。
- ・健康診査・健康検診の受診を奨励します。
- ・体操教室、健康教室や文化教室など魅力ある体験講座やセミナーを開催しフレイル予防に努めます。

### (3) 適正就業

- ・厚生労働省の「適正就業ガイドライン」をもとに請負・派遣の就業形態について厳正な業務を推進します。

#### 4 取り組みを支える基盤づくり

センターは、超高齢社会にあって欠かすことのできない組織です。厳しい財政状況・事業運営を余儀なくされている中でも、更なるセンターの必要性の意義を提唱し信頼と財源確保を図り、健全な財政運営に努めます。

##### (1) 組織運営の強化と整備

- ・社会貢献活動や交流事業により会員同士の連帯感を高めます。
- ・センターと会員との円滑な関係を維持向上し組織力の強化に努めます。
- ・会報「しるばーだより」などを通じて組織全体で情報を共有します。

##### (2) 財政基盤の強化

- ・東員町及び三重県シルバー人材センター連合会との連携により関連補助金を有効活用します。
- ・効率的効果的予算を編成し堅実な執行に努めます。
- ・事業実施及び法人運営に要する適正な事務費の調査研究を行います。

##### (3) 公共事業の受注

- ・公共事業の受注割合は非常に高く今後も受注継続拡大に向けて質の高い就業に努める必要があります。

##### (4) 事務局体制の強化

- ・職員の資質向上を図るため研修会などを積極的に受講します。
- ・日常事務の簡素化・効率化を図ります。
- ・職員の組織経営感覚を醸成します。